

◇愛知県「基幹的広域防災拠点」
◆豊山町「避難所及び賑わい施設」
事業計画説明会

愛知県 防災危機管理課 防災拠点推進室
豊山町 防災拠点推進室

◆本日の説明内容

- 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」
整備
- 2 豊山町「避難所及び賑わい施設」
概要
- 3 都市計画決定について
- 4 今後のスケジュール

● 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」

◆ 愛知県説明

- 1) 計画の概要
- 2) 整備計画地
- 3) 災害時・平常時の機能
- 4) レイアウト
- 5) 関連事業計画(道路)
- 6) 関連事業計画(河川)
- 7) 今後のスケジュール、用地取得の流れ

1)計画の概要

【愛知県】南海トラフ地震の脅威

○M8～9地震の今後30年以内の発生確率は70～80%

＜愛知県の被害予測調査(平成26年5月公表)＞

○人的被害:死者 約29,000人

○住家被害:全壊 約382,000棟

○被害額:約17兆円

「県土全体の災害対応力」の強化が急務

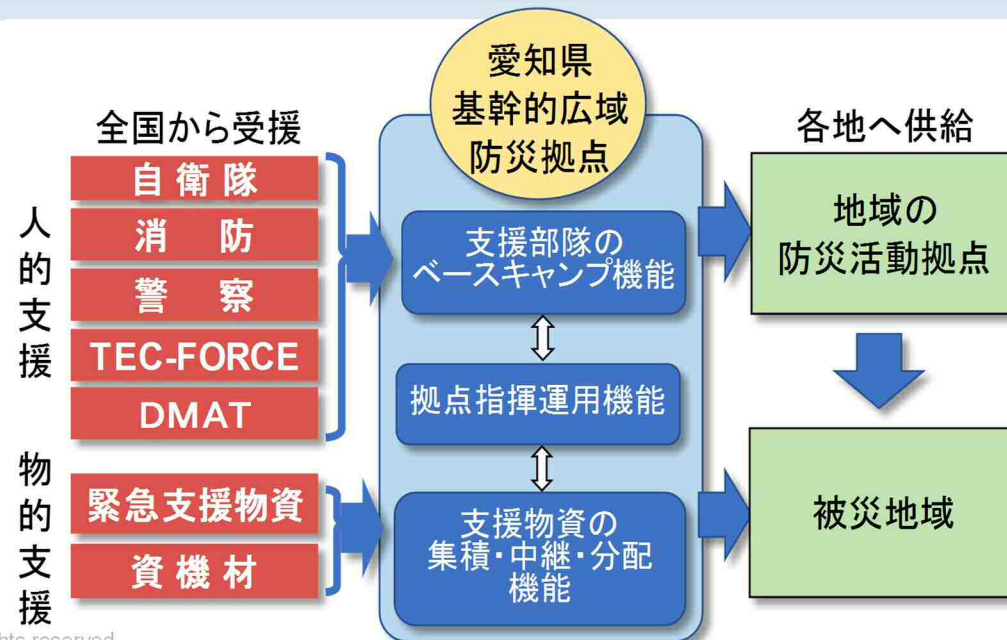
【出展】愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年5月)
人的、住家被害は最大クラスを想定

1)計画の概要

南海トラフ地震・スーパー伊勢湾台風等広域かつ甚大な災害では、

全国から人員・物資等の支援を受け入れ、被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援が必要

県内130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる
「基幹的広域防災拠点」を整備し、
県内全域の災害応急体制を確保



2)整備計画地

基幹的広域防災拠点の位置

位置選定の条件

- 1.国の計画において、「大規模な広域防災拠点」に指定されている県営名古屋空港に隣接
- 2.高速道路、空港とのダブルアクセスが可能
- 3.地震時の液状化リスク等の災害リスクが低い



整備計画地を
名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に選定。

3)災害時・平常時の機能

基幹的広域防災拠点【災害時の機能】

1. 拠点指揮運用機能

- ・「防災拠点を指揮する本部機能」として、新たに消防学校を整備。24時間危機管理体制を確保。愛知県・名古屋市の消防学校を統合し全県一貫した消防教育を行うことを検討。
- ・「広域医療搬送拠点臨時医療施設(SCU)」を設置。

2. 支援部隊ベースキャンプ機能

- ・全国から派遣される消防・警察・自衛隊等支援部隊のベースキャンプ用地を確保。

3. 支援物資集積・中継・分配機能

- ・国からのプッシュ型支援物資を県内全域に供給するターミナル施設を確保。
- ・県備蓄物資を保管

4. 中部圏の「基幹的な拠点」としても貢献

3)災害時・平常時の機能

基幹的広域防災拠点【平常時の機能】

1. 消防学校を核とする愛知県の防災教育・人材育成拠点

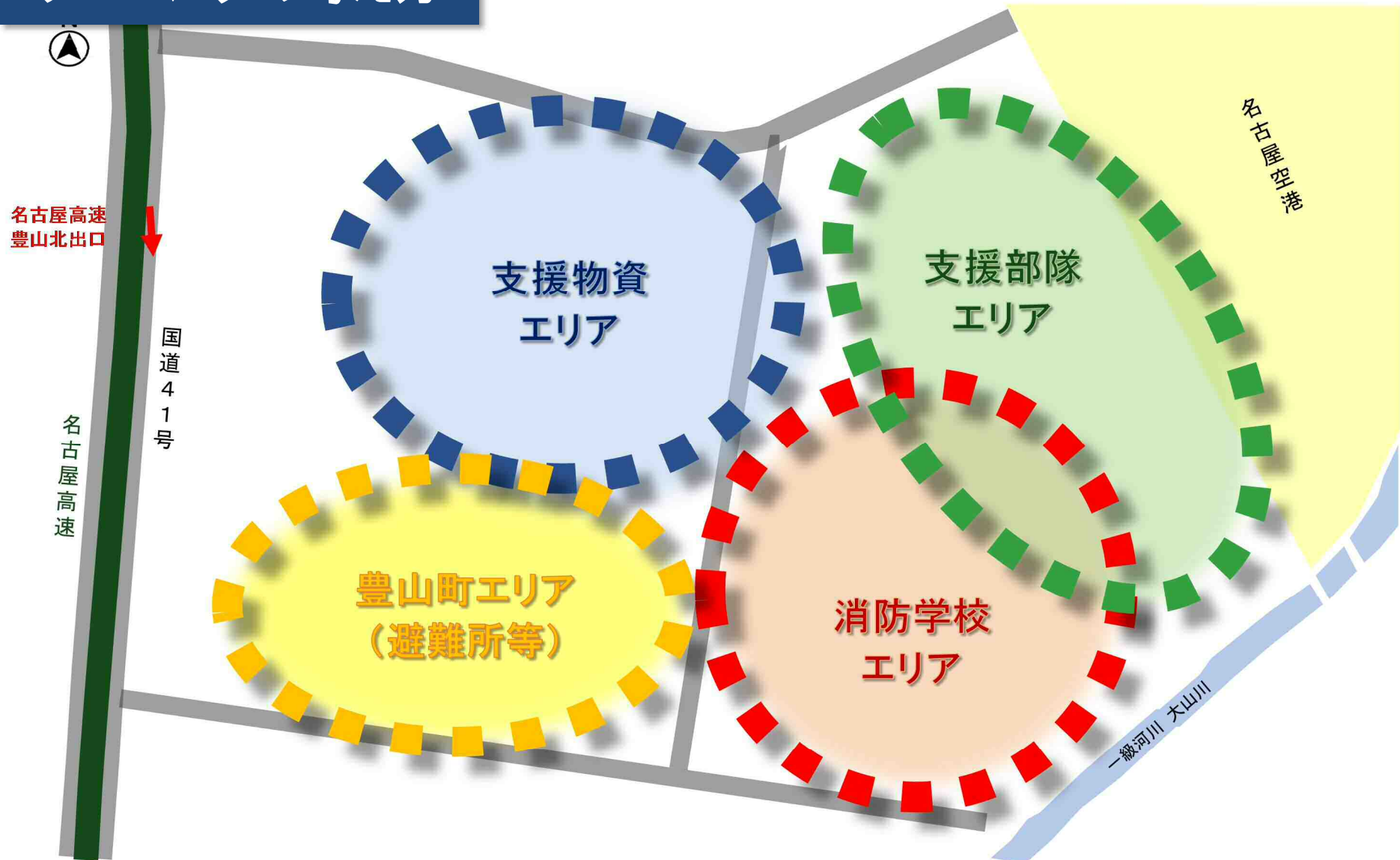
- ・消防学校では、消防職員等に対し消防防災に関する教育訓練を実施。
- ・消防学校を地域に開放。訓練施設等を活用し、小中学生、自主防災組織、企業等向けに防災教育・人材育成を実施。

2. 地域の賑わいの創出

- ・公園として県民に広く開放。
- ・防災をはじめとした様々な分野のイベントを開催。
- ・防災ビジネス・スタートアップの拠点
- ・豊山町が整備する「賑わい施設」と一体感を保ち、県内外からの集客に寄与。

4)レイアウト(ゾーニング)

ゾーニングの考え方



4)拠点レイアウト(拠点エリア)

基幹的広域防災拠点エリア

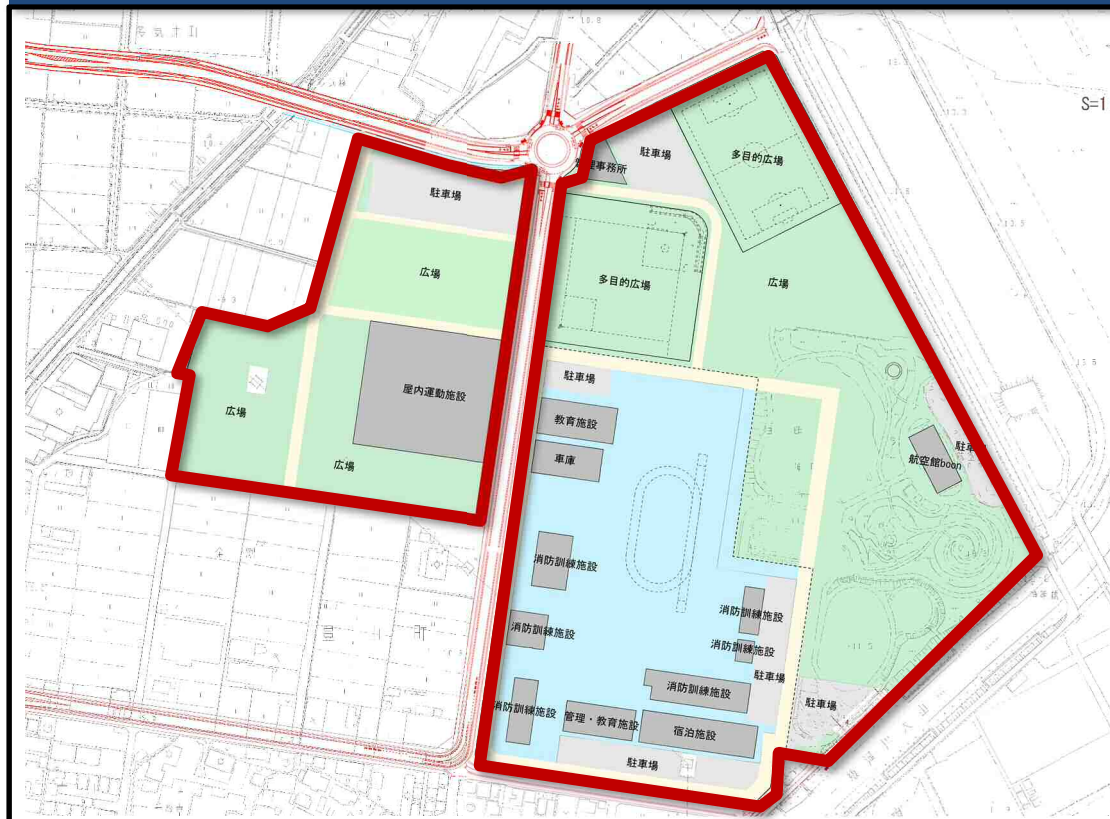
規模の条件

・国の計画に基づき、愛知県全域を後方支援できる規模を確保。

- 施設規模(日あたり最大)
 - 活動要員
約6,500(人)
 - 支援物資
約31,000(パレット)
 - 車両
約3,400(台)



基幹的広域防災拠点エリア



整備面積を約19.2ha(万㎡)で計画

4)拠点レイアウト(災害時:各エリア機能)



- ・支援物資中継、分配
- ・県備蓄 物資保管
- ・NPO、ボラ活動支援



- ・支援部隊のベースキャンプ、後方支援



- ・拠点指揮本部
- ・広域医療搬送
- ・DMAT後方支援
- ・名古屋空港と相互連絡

県内130か所の防災活動拠点の後方支援を実施し、県内全域の災害応急体制を確保

4)拠点レイアウト(平常時:各エリア機能)



- ・屋内運動施設
- ・イベント会場
- ・防災ビジネス
- ・スタートアップ




「備える！中日サバイバルキャンプ」より
提供:(株)中日新聞社

- ・多目的広場
- ・防災サバイバルキャンプ



- ・消防教育
- ・防災教育
- ・人材育成

エリアの一体的な活用により、
平時利用の活性化・防災力の向上を図る。

4)拠点レイアウト(平常時:公園エリア)



- ・屋内運動施設
- ・イベント会場
- ・防災ビジネス
- ・スタートアップ



「備える！中日サバイバルキャンプ」より
提供:(株)中日新聞社

- ・多目的広場
- ・防災サバイバル
キャンプ

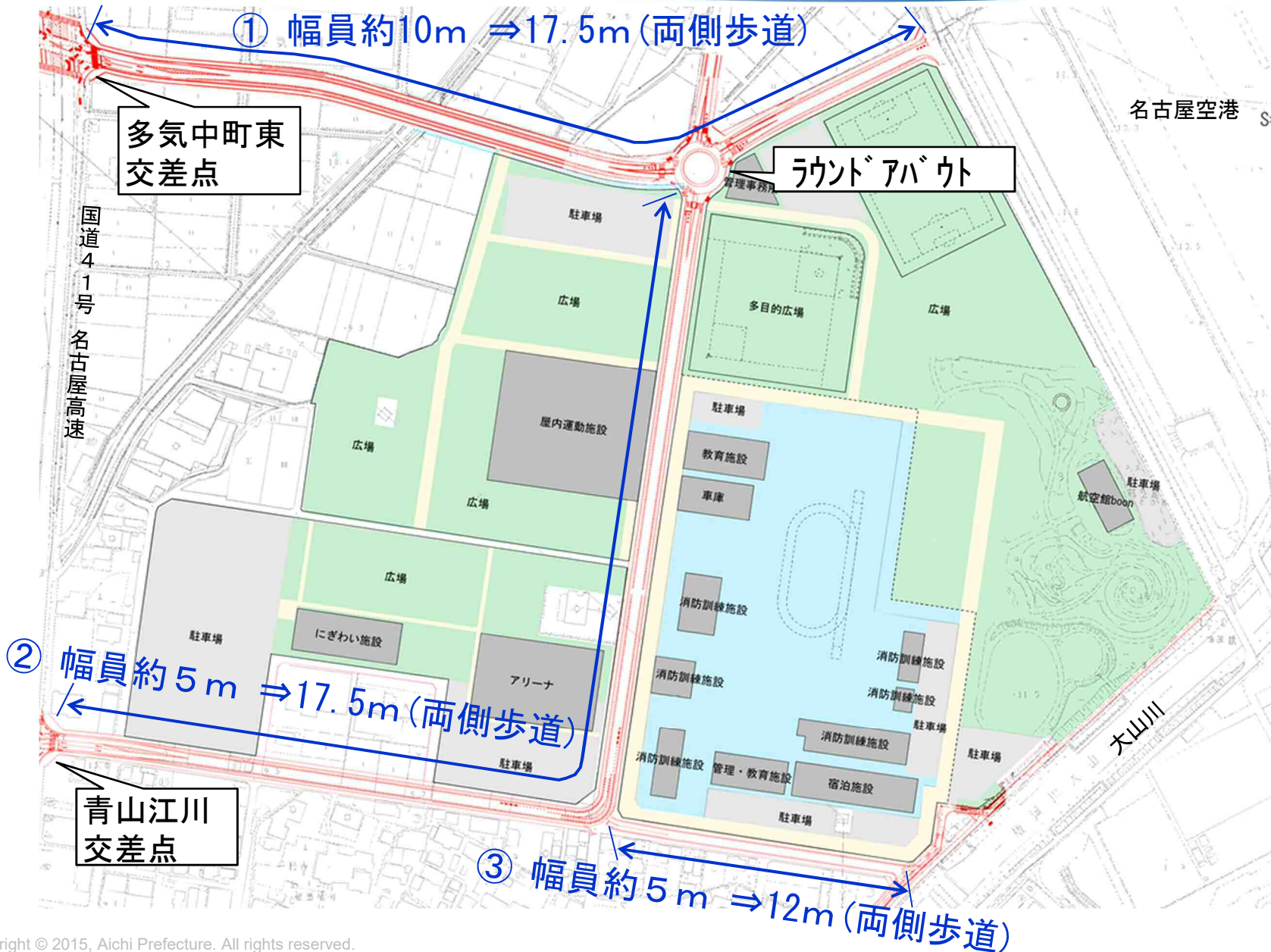
既存の神明公園(展望台、築山、航空館boon等)の機能は引き続き活用を検討

4)拠点レイアウト(平常時:消防学校エリア)



- ・消防教育
- ・防災教育
- ・人材育成

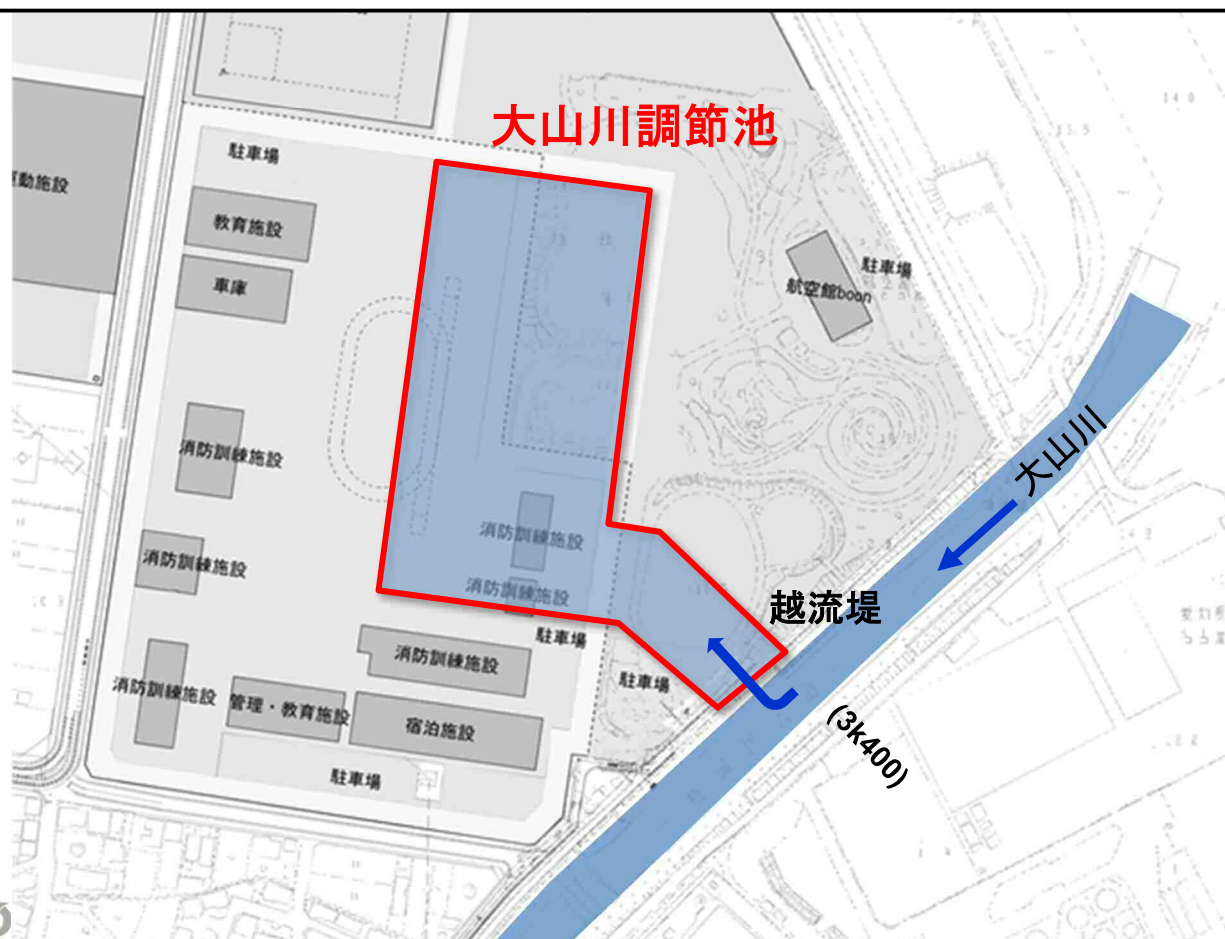
5) 関連事業計画(道路)



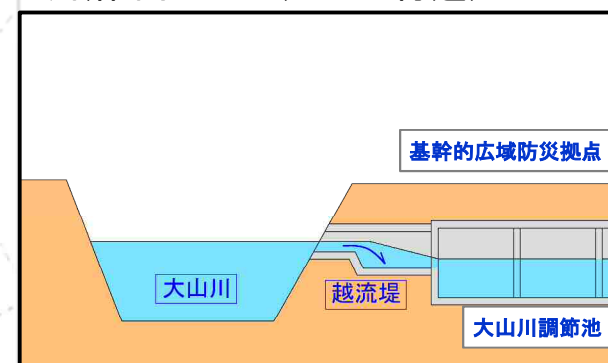
6) 関連事業計画(河川)

大山川調節池(基幹的広域防災拠点の地下に設置)

- ◆目的: 大山川の洪水の一部を約 $22\text{m}^3/\text{s}$ カットし、洪水流量を低減することで、大山川の洪水(整備計画流量 $360\text{m}^3/\text{s}$)を安全に流下させる。
- ◆施設概要: 洪水調節容量: 約 5.6万m^3 、面積: 約 1.8ha 、洪水調節流量: $22\text{m}^3/\text{s}$



◆断面イメージ(3k400付近)



◆調節池イメージ



● 2 豊山町「避難所及び賑わい施設」

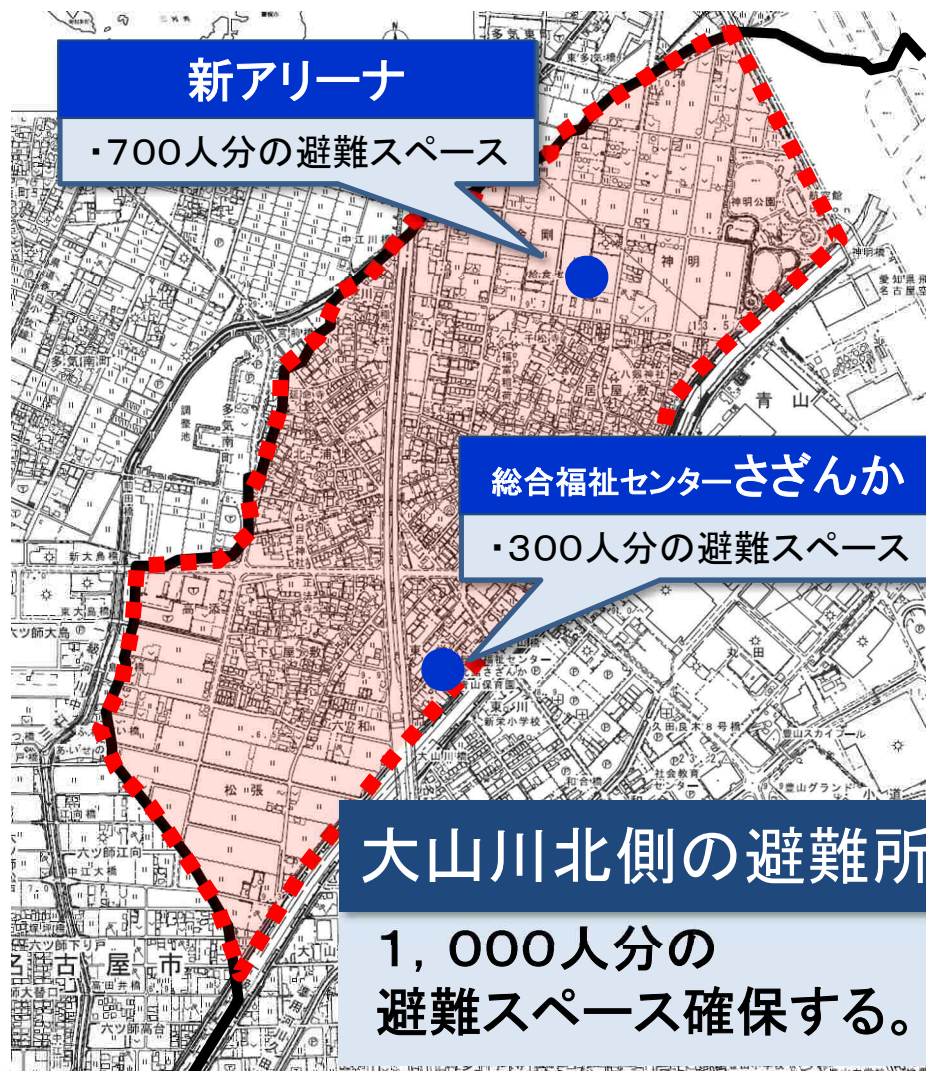
◆ 豊山町説明

- 1) 避難所(アリーナ)の規模
- 2) 賑わい施設
- 3) 避難所(アリーナ)及び賑わい施設

1)避難所(アリーナ)の規模

避難所規模の考え方

大山川南側の避難所と同程度の規模を確保



新たなアリーナの規模

▶700人分の避難スペース



メインアリーナ(バスケットコート2面分)

サブアリーナ(多目的室)

コミュニティスペース

防災倉庫

会議室・管理諸室等



2)賑わい施設

- 賑わい施設の整備に関する町民アンケート調査概要
(8/13発送～8/31回収)

発送数2,000票 回収数515票

- 賑わい施設に必要だと思う施設 (3位まで)
 - ①「カフェ、レストラン等の飲食店」 42.5%
 - ②「バスターミナル等交通拠点」 39.2%
 - ③「災害時に活用できる施設」 37.5%
- 賑わい施設の広場・オープンスペースに必要だと思う施設 (3位まで)
 - ①「オープンカフェ」 44.5%
 - ②「イベントスペース (マルシェ) 」 41.7%
 - ③「子どもの遊び場 (遊具など) 」 31.8%

アンケート結果を踏まえて、来場者の利便性向上や地域の魅力発信につながる施設になるようを検討し構想をまとめていく。

3) 避難所(アリーナ)及び賑わい施設



● 3 都市計画決定について

■ 名古屋都市計画教育文化施設の決定（豊山町決定）

1. 名称（番号・教育文化施設名）

1 （仮称）愛知県名古屋市消防学校

2. 位置

西春日井郡豊山町大字青山字神明

3. 面積

約6.1ha

● 3 都市計画決定について

■ 名古屋都市計画公園の変更(豊山町決定)

1. 種別

総合公園

2. 名称(番号・公園名)

5・4・106 (仮称)愛知県防災公園

3. 位置

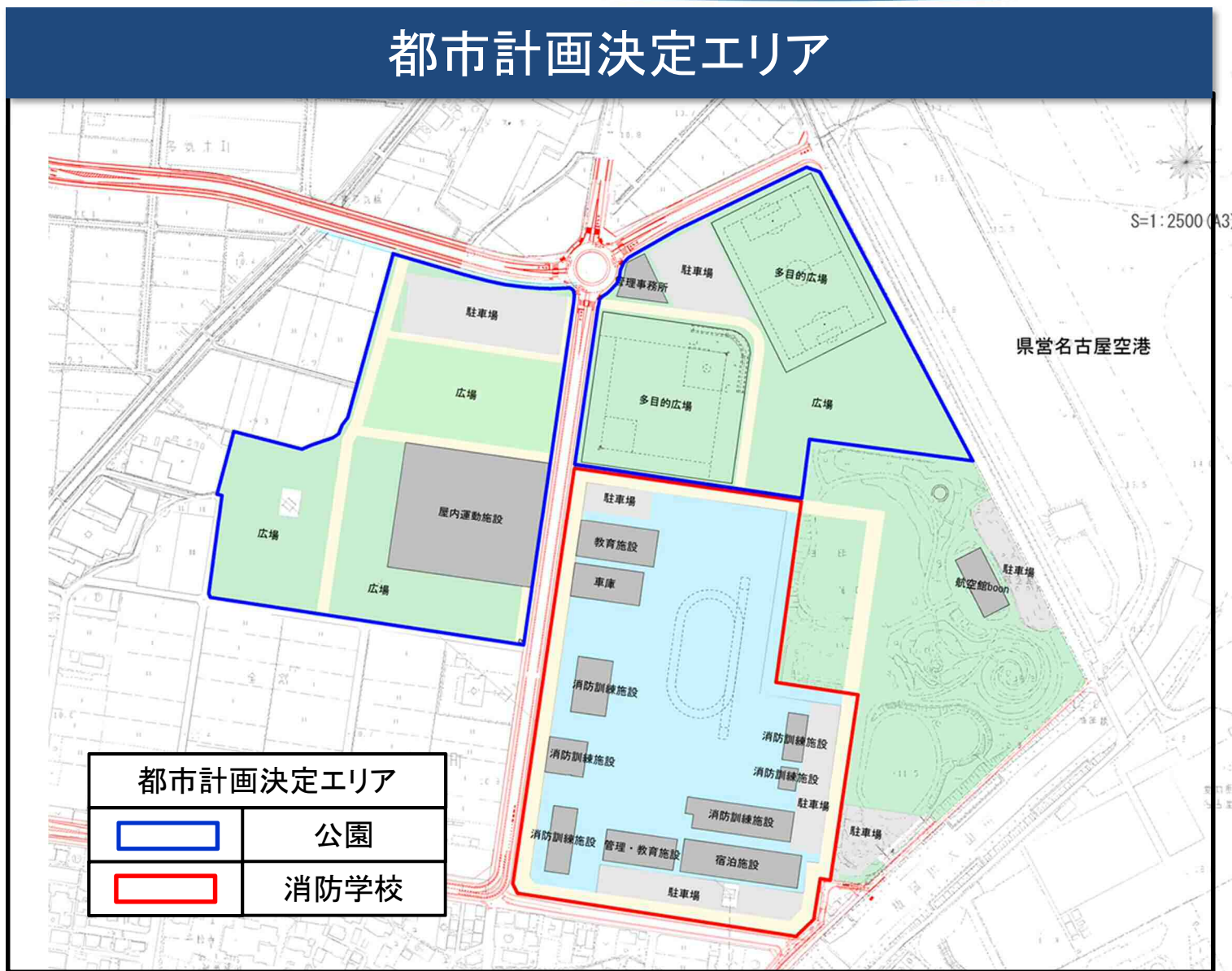
西春日井郡豊山町大字青山字神明、字金剛
小牧市下小針天神2丁目、多気東町

4. 面積

約8.9ha

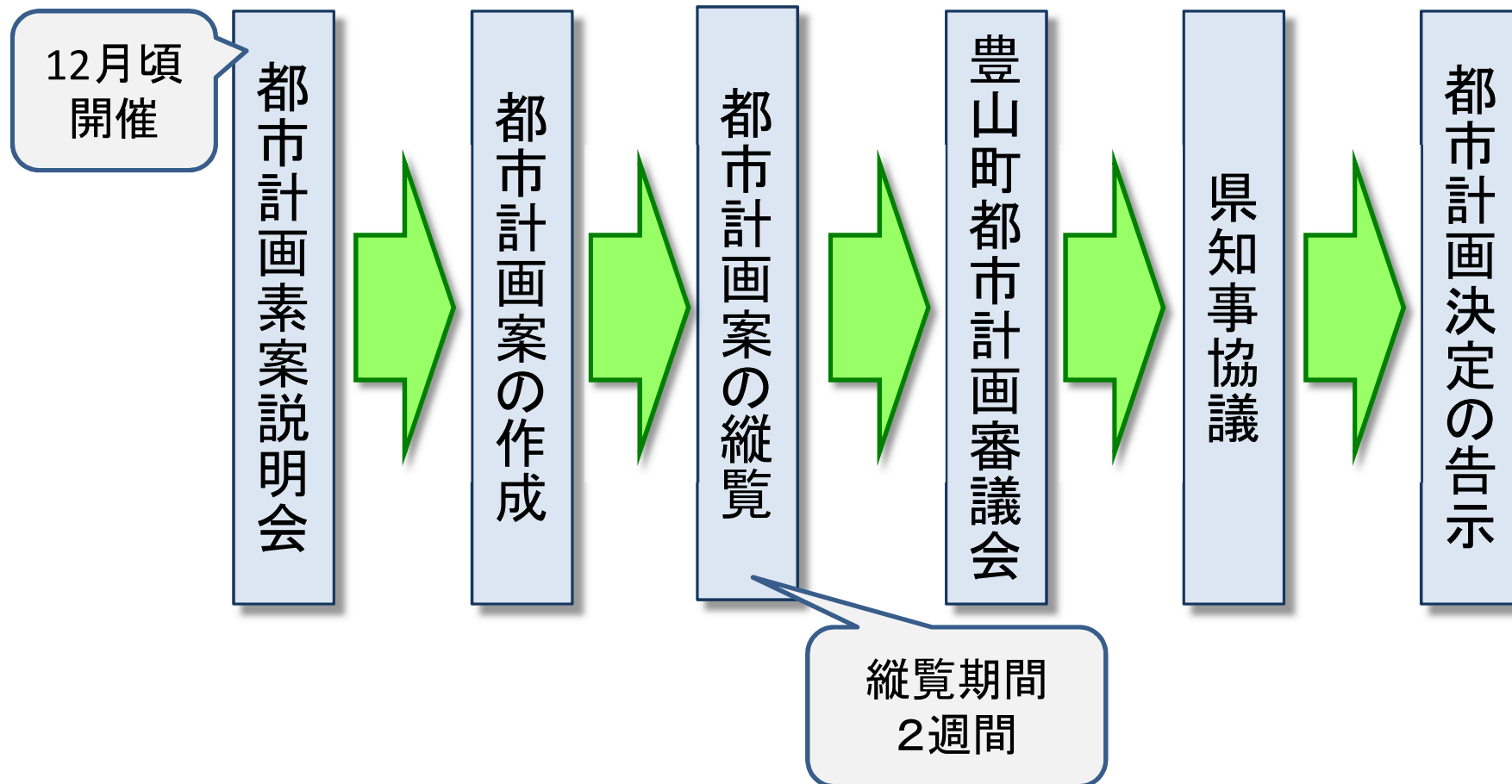
● 3 都市計画決定について

都市計画決定エリア



● 3 都市計画決定について

■ 今後の都市計画決定手続きについて



●4 今後のスケジュール

◆令和3年12月から都市計画手続き開始。
令和4年度から用地取得の手続きに入ります。

●都市計画決定に向けて、消防学校・公園等の
説明会を12月に実施する予定です。

●都市計画決定後に用地取得手続きに入ります。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地形測量 整備計画	→				
都市計画決定		★			
用地測量・用地取得		→			
造成・建築工事等			→		★

完成予定

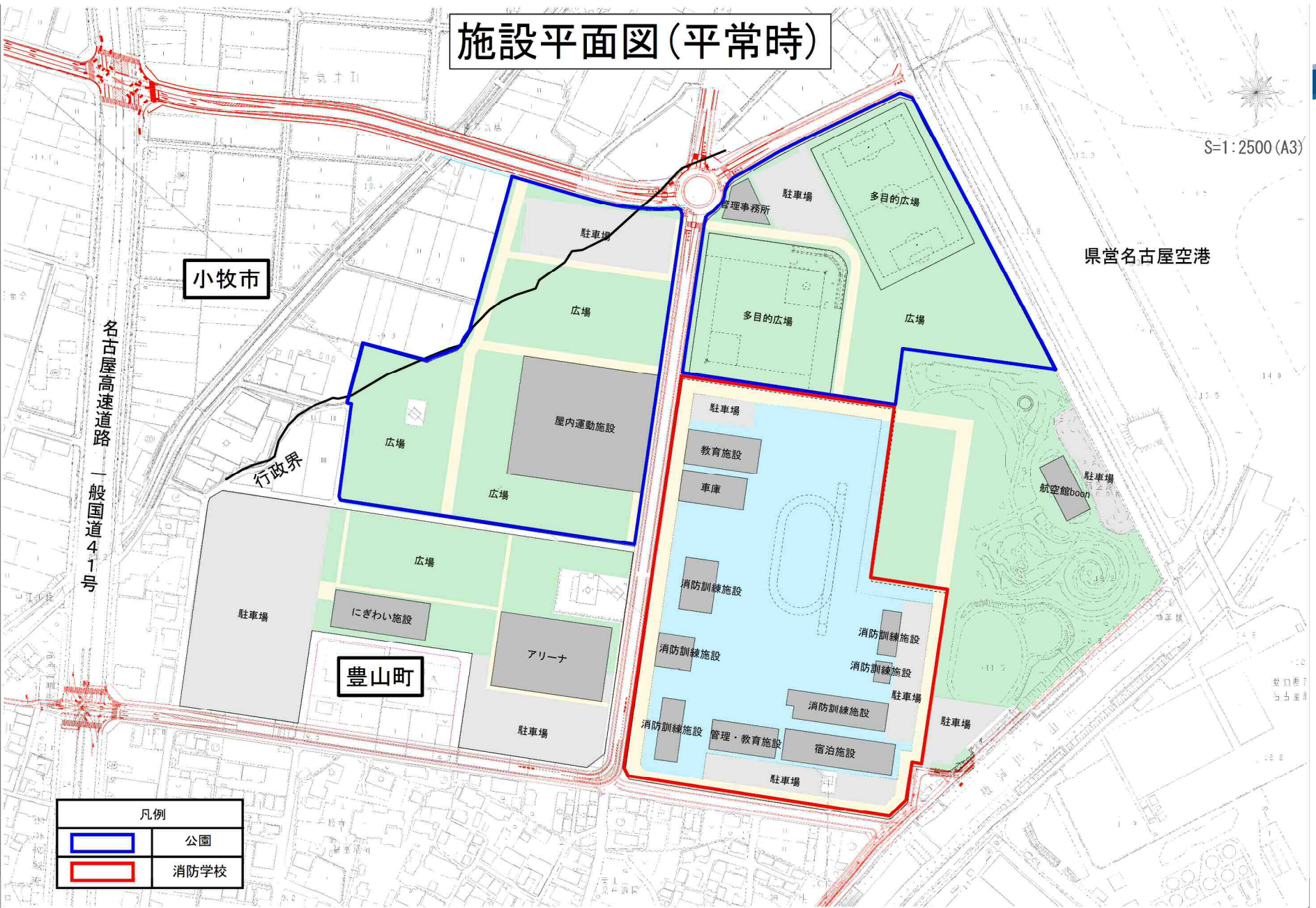
施設平面図(災害時)

S=1:2500 (A3)



施設平面図(平常時)

S=1:2500 (A3)

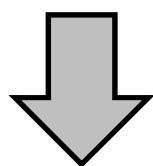


凡例	
	公園
	消防学校

◆用地取得の流れ

- 用地測量（令和4年4月～）

※直前に測量に関する説明会を開催

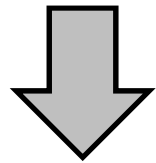


- 境界立会（令和4年7月頃）

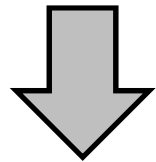


◆用地取得の流れ

- 土地評価、物件調査



- 調査結果・補償額の説明



- 契約





質疑応答